大 津 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開 催 日 時		令和８年２月19日（木）午後３時～午後５時15分
開 催 場 所		大津警察署瀬田駅前交番、大津警察署５階会議室
出席者	委　員	瀧千鶴委員(会長)、小原めぐみ委員(副会長)、藤井典史委員、上下重征委員、近藤敏夫委員、上野康代委員、上田敏子委員
	警　察	四谷署長、門前副署長、若井会計官、上杉刑事官、伊吹交通官、小林地域官、河合調査官兼警務課長、折原調査官兼留置管理課長、岩﨑調査官兼警備課長、小谷生活安全課長、亀田交通第一課長、広岡刑事第一課長、小谷刑事第二課長、石丸交通第二課長、大谷会計課長、吉村地域第二課長、辻本生活安全課専門員

議 事 概 要

1　視察

新設された大津警察署瀬田駅前交番において、警察から瀬田駅前交番の建設状況、交番管内の治安情勢等の説明の後、同所の視察を行った。

2　署長挨拶

署長から「新設の瀬田駅前交番での視察内容を踏まえた御感想、令和７年の犯罪や事故発生状況に対する御意見、御要望をお聞かせ願いたい。」旨の挨拶がなされた。

3　会長挨拶

会長から「視察した瀬田駅前交番は、女性のための設備や配慮がなされている良い交番ができて良かったと思う。皆様からの様々な御意見を出してもらい、伝えさせてもらえると良いと思う。」旨の挨拶がなされた。

4　議事

(1) 新設の大津警察署瀬田駅前交番の視察について

委員から「瀬田駅前交番の今年の犯罪発生件数が減少したとの説明があったが、犯罪発生件数が減少した要因は何か。」旨の質問がなされ、警察から「全国的に減少したこともあるが、瀬田地区では犯罪が多かったため、自主防犯活動が非常に活発であり、その活動が一因になっていると思う。」旨の説明がなされた。

委員から「全国のモデルケースですね。」、「地域柄ですか。」旨の質疑がなされ、警察から「瀬田地区の住民の皆様は、平成 14 年頃に自主防犯を立ちあげ、少年の立ち直り支援等、非常に熱心に活動されている。瀬田駅前交番において、防犯役員の方々と情報交換等を行っている。」、「特に瀬田北学区は旧来の住宅も多く、地域全体で犯罪防止活動に取り組まれている。」

旨の説明がなされた。
委員から「瀬田駅前交番は最新の設備で防災も配慮されていて、素晴らしいと思った。駅前に交番があると防犯意識が高まると思う。」旨の感想が述べられた。
委員から「相談者が交番入口から相談室に入れるようになっていた。他の交番にも相談室はあるのか。」旨の質問がなされ、警察から「交番には様々な人が来るが、外から丸見えであるので、見られたくないという相談者が安心して相談できるように、近年で建て替えられた交番には相談室を設置している。」旨の説明がなされた。

(2) 令和７年中の管内における犯罪発生状況及び交通事故発生状況について

警察から令和７年中の管内における犯罪発生状況についての説明がなされた。
前回の警察署協議会での「ＳＮＳ等が子供に及ぼす影響に対する対策をお願いしたい。」旨の提言に対し、警察から小中学生に対するＳＮＳ等の犯罪防止対策について説明がなされた。
警察から令和７年中の管内における交通事故発生状況についての説明がなされた。
委員から「飲酒検問は、発生が多い３月、８月、12 月にあわせて取締りを行うのか。」旨の質問がなされ、警察から「飲酒検問は、対象月と限定することなく、通年実施している。飲酒の機会が増える時期はいつも以上に取締りを実施している。」旨の説明がなされた。
委員から「小学校でオーバードーズの授業を受けたが、非常に分かりやすかった。子供たちが犯罪に巻き込まれる前にこうして教えて貰えるのは非常にありがたいと思った。」、「民生委員は、詐欺等の犯罪の電話であっても電話が鳴れば取らざるを得ないので非常に対応が難しいと思う。10 月に民生委員の会でサイバー犯罪の講習会をお願いしようと思っている。」旨の意見等がなされた。
委員から「６月の協議会で、死亡事故は歩行者や高齢者が漫然とした運転の車に追突される場合が多いと説明を受けた。今回の死亡事故も歩行者等への追突が多いが、同じ傾向にあるのか。」旨の質問がなされ、警察から「交通事故は運転手の過失が原因である。歩行者に気付くのが遅れた等、運転手が前方を見ていれば防げた事故が多く、運転手の不注意が原因であった。」旨の説明がなされた。
委員から「横断歩道ファースト運動で停車する車は増えてきたが、まだ停車しない車もあるので、啓発活動は大切だと思う。」旨の意見がなされた。